



# 怒りの拳「戦争NO!」

## 全国の仲間とともに、県内全域で総行動を!!

**憲法12条**：この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。

昨年、7月1日安倍内閣は「集団的自衛権の行使」を閣議決定。今年の5月15日そのための「関連戦争11法案」を国会に上程し、7月16日衆議院で強行採決した。戦後70年の歴史で最悪の汚点を残す日となるでしょう。安倍内閣と国民の矛盾は決定的となり、憲法9条と戦争勢力のたたかいは正念場となります。すべての力を結集しよう

アメリカの単独占領下にあった1950年朝鮮戦争が勃発。連合国司令官マッカーサーの「覚書」で警察予備隊がつくられ、9条は蹂躪されました。ここに全ての問題の起点があります。独立後の54年には自衛隊が創設されます。政府は日本が武力攻撃を受けた場合には「個別的自衛権の行使」は許され、そのために「最小限度の戦力保持」は合憲という一方的な「憲法解釈」をしました。その反面つき

「政治的合意」を作り上げてきました。それは①「個別的自衛権」は有するが「集団的自衛権」は憲法違反として国民に言明約束します。②自衛隊は「専守防衛」に徹する。③「非核三原則」を厳守。④防衛費はGDP1%枠内とする。⑤「武器輸出三原則」を守る。このような事を国民に約束し、またアジアの人びとにも日本は自衛隊を保持するが「戦争はしない国」と表明し信頼されてきたのです。

### ☆憲法9条と集団的自衛権☆



他国の戦争に参加する「集団的自衛権」は憲法9条に違反する。これは歴代の自民党政権が国民に約束してきた国の大方針です。安倍内閣はそれを1回の閣議決定でひっくり返してしまいました。9条の抹殺・破壊です。憲法を変えるのなら正々堂々と国民にその信を問うのが民主政治の常道です。国民に「ロク」な説明もせず、品位のない国会答弁、黒を白という姑息な手段で誤魔化そ

うとする。2006年の第1次安倍内閣の時、憲法改正のための「国民投票法案」を強引な手法で成立させたのは安倍首相自身です。現下の政治状況は平和・憲法の危機と同時に民主政治の危機にあります。憲政の大道を蹂躪するのは戦争ファシズムへの道。これは歴史の教訓です。戦後70年、国民が築き上げてきた平和・民主主義の名において安倍内閣を糾弾します。

### ☆戦後70年最大の平和危機☆

# 怒りの島 沖縄に 支援・連帯の輪を広げよう!

**憲法9条**：日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



**憲法95条**：一の地方自治体のみ適用される特別法は、法律の定めるところにより、その地方公共団体の住民の投票においてその過半数の同意を得なければ、国会はこれを制定することができない。



**沖縄の総意、辺野古新基地はつくろせない。  
民意無視の安倍内閣を糾弾する!**

「米軍普天間基地閉鎖・辺野古新基地反対」をめぐって世論を二分にした沖縄県民の意思は、名護市長選挙（2014年1月）・名護市議会選挙（14年9月）・県知事選挙（14年11月）・衆議院沖縄全四つの小選挙区選挙（14年12月）で示されました。結果は全ての選挙で「基地反対派」の勝利で終わりました。安倍内閣はこの沖縄の総意をなぜ尊重できないのでしょうか。  
県民総意を無視し、民主主義を破壊してまでアメリカに屈服する安倍内閣は許されません。

**沖縄は「軍事的植民地」ではない!**

終戦の1945年4月。日米両軍の沖縄地上戦では96%の家が焼かれ、4人に1人が死にました。進駐した米軍は住民を「収容所」に追いやり基地をつくりまします。「収容所」から帰ったら住む家がない。これが今日まで続く沖縄米軍基地化の始まりでした。以後27年間、軍事占領下に置かれ、72年本土復帰後も基地はなくなり強化されました。戦後70年、沖縄は「軍事的植民地」と同じで県民の声・意思・平和の願いは無視されています。いまこそ、沖縄の夜明けのために沖縄と本土が一体となったたたかいが求められています。



世界で一番危険な事故機・オスプレイ輸送機

**アジアに平和なくして日本の平和はない!**

戦後最大の戦争。それは10年間続いたベトナム戦争。米兵50数万人が送り込まれ、ベトナムはアジア最大の米軍基地となりました。約200万人の死傷者。「枯葉作戦」で猛毒ダイオキシンの大量散布はいまなお多くの人びとを苦しめています。1975年「自由と独立」を勝ち取ったベトナム。アメリカの基地はなくなり、アジアに平和が訪れました。1992年フィリピンでも

マルコス大統領の独裁政治が「ピープルス・パワー」で倒され、米軍基地はフィリピンからなくなり、アジアの平和はさらに広がりました。現在、東アジアでの米軍最大の基地は沖縄に置かれています。アジアの仲間はさらなる基地撤去を求めています。憲法9条はアジア諸国民の平和の支えとなっています。

茨城県平和委員会 2015.7.17

〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
TEL/FAX : 029-251-2806